

GAPの普及 大賞3社を表彰

東京でシンポ

日本GAP協会(JGAP)は10日、東京都内でシンポジウム「GAP JAPAN2015」を開き、GAP普及大賞に選んだ日本コカ・コーラ(東京都港区)などを表彰した。植物工場や薬用作物向けのGAP(農業生産工程管理)を開発することも明らかにした。

第5回GAP普及大賞

には、国産緑茶の持続可能性に向けたGAP普及に取り組む日本コカ・コーラの他、韓国でJGAPを取得し、朝鮮人参を生産・販売する営農組合法人ノルメインサム社の2社を表彰。特別賞の觀光農園・まるせい果樹園(福島県)も表彰した。

今年度の開発方針として、日本、東アジア、東南アジアで利用できるGAP、植物工場や薬用作物向けGAPの開発などにも取り組む。

講演会では、美しい農村づくりに向けたGAPの可能性をテーマに、欧州連合(EU)農業総局農村振興担当のレオ・マイヤー課長がEUの農業政策について講演した。他、農と自然の研究会の宇根豊代表、日本創成会議の増田寛也座長も講演した。